

15
396



人倫訓蒙圖彙
五

始



飛
集

人備訂裝家彙

五

細天部 江米目

金剛師 比細五じう〜あり
 わり中法後小松院乃此因
 後藤新榮といふ名名介
 了勢あるはなり 甚法持舟
 誠おきえ伝といふ名名介
 後師と名はさしとゆふ
 しくありなりし人新榮
 脚抱のり後とえ伝より
 じえ伝はたは法眼をなり後
 とのいひ師をいひまた比
 極るまゝ名もゆふまゝなり
 名もゆふまゝなり

繪師 庵去乃



大正
 10. 2. 28
 内交

徳師といふは秋の月夜水の中
 小うつろとて半袖とて目
 へく仁連とて空の雲とて依
 金吾法師はえ徳らて千枝常
 夜をもて人々今終よあて
 持神歌茶太依ありの又依
 屋津野と村友松海地をわ
 せこれ流ありの又依徳とてく
 と強所とりのありの依法師室
 町を角邊を可本村う依を介
 た系津無た依ありの細令師
 依の教をまゝとてあまことと
 依依依のまゝとて用也令依

の徳とて神小刻て衣紋とて
 依の依とて川の細令師
 まゝとてかた **依師** 業と
 文殊あつた依とて長とてとて
 半の長守す二分とてや半
 まゝの丹後神依の依松とて
 依に切分との文殊依とて化
 て依依のまゝとて依依のまゝ
 く依依のまゝとて依依のまゝ
 依依のまゝとて依依のまゝ
 の依師の依師の依師の依師
 依二寺所依松系とて丁裏
 依依二寺所依松系とて丁裏



佛の御前にてありては
 小のりてありては
 師範永通所よありてあり
 珠指 眼鏡珠救全利
 塔塔水晶よありてあり
 かののるは占星とほくら家
 金剛砂い水と濁く務り
 梅よあていそとありてあり
 雲層よりいそとありてあり
 五日中てハ思春年中に
 陸奥より堀りてありてあり
 町西田桑坊門の下にあり
 位とち飯い飯いあり

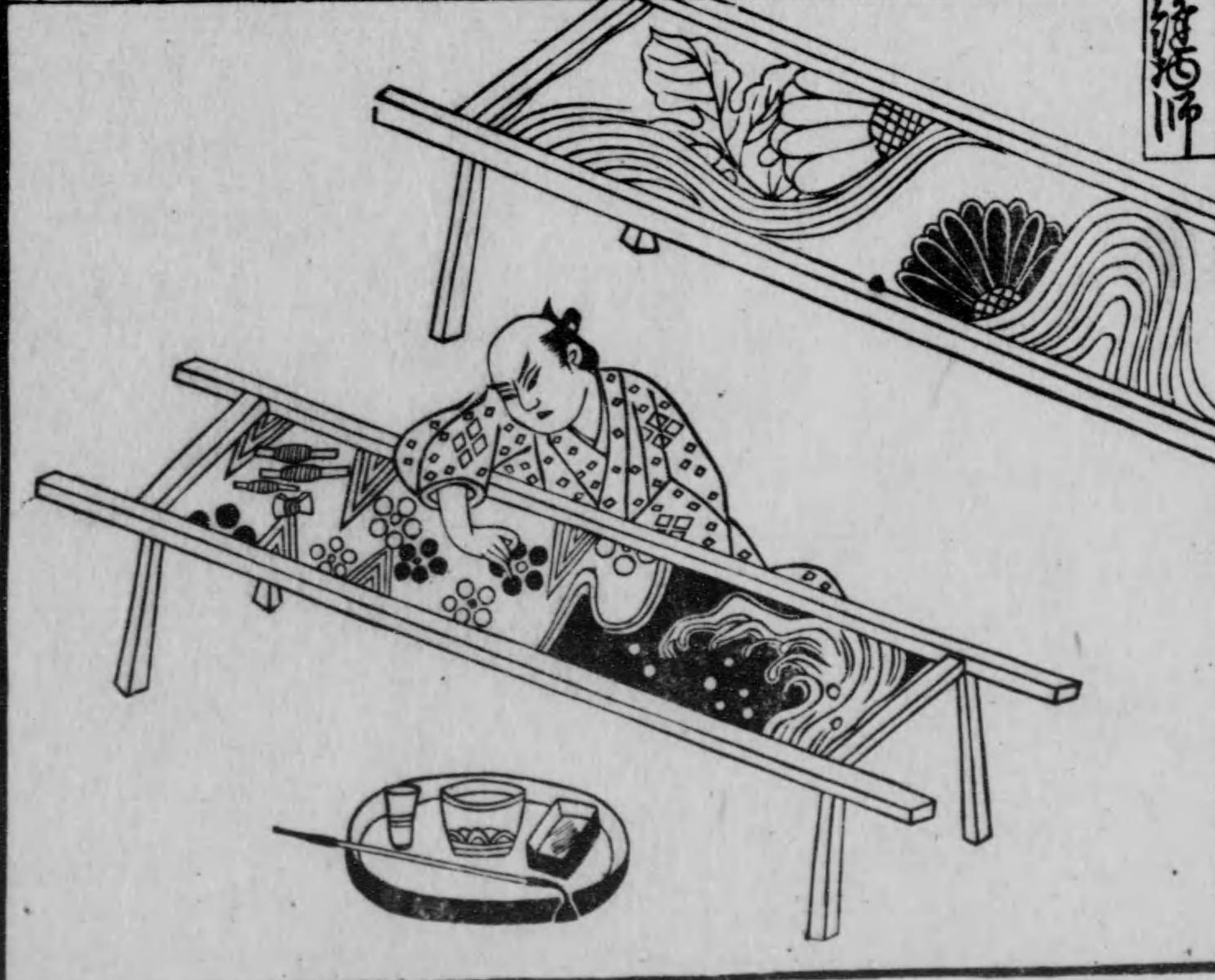


江戸南條の町に神明ありてあり
 邪史人功利ありてあり
 上りて摩邪邪史人ありてあり
 らのりてありてあり
 しじも始とありてあり
 高佛師也云細工人来利太子よはへありてあり
 の作と云ありてあり
 任むる有久太形也長尾お元奉中よ運交と云仏師
 阿の七條形也元祖ありてあり
 杖を後安阿弥也云其時右の四人よ四菩薩也官位
 以下よりハ邪術ハ四保通かんハ一ハ一の町南側康也
 今名左京是步利 其不法橋教人也

経師

経師或後

ぶみはひてはあまうあかり
 竹角あや牙鯨鬚とりて巻
 糸系指扱寺町色押窓の
 下舟本長門はみあくはわり
 伊須のま長門り出い本と
 舟本と号は **卯判師** 水
 牛どのつこまこと依つて
 墨袋のうははるとりてま
 彫又歌謡と考字とみ
 てあまうとわらうとてまほり
 たり野人小唄とれと個法
 とは系移西二系上丁井と
 ちわこまかあまありとあ
 ちわこまかあまありとあ



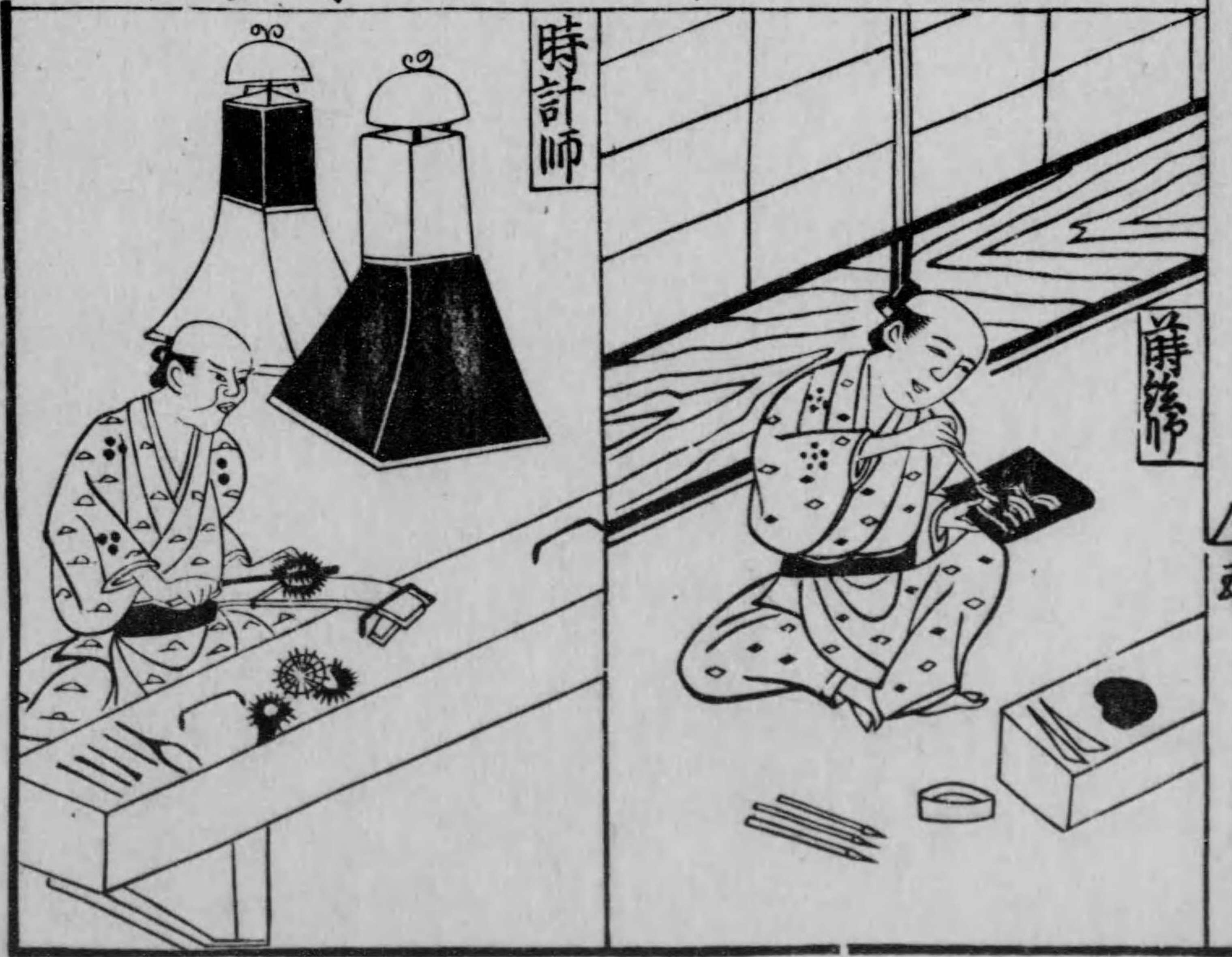
織師

棟筋年母所はわりのいふ系
 梅口丁目浪少あわ所
 織物師 けのぬかまきかぬわ
 小くぬくのあまのて接れと
 織あまのぬかまきかぬわ
 ぬかまきかぬわとあまのて
 とは織物師とあまのて
 紋形のあまのてあまのて
 とらありのあまのてあまのて
 とらありのあまのてあまのて
 織物師乃え紐を作あり
扇折 扇より始りて
 折代とあまのてあまのて

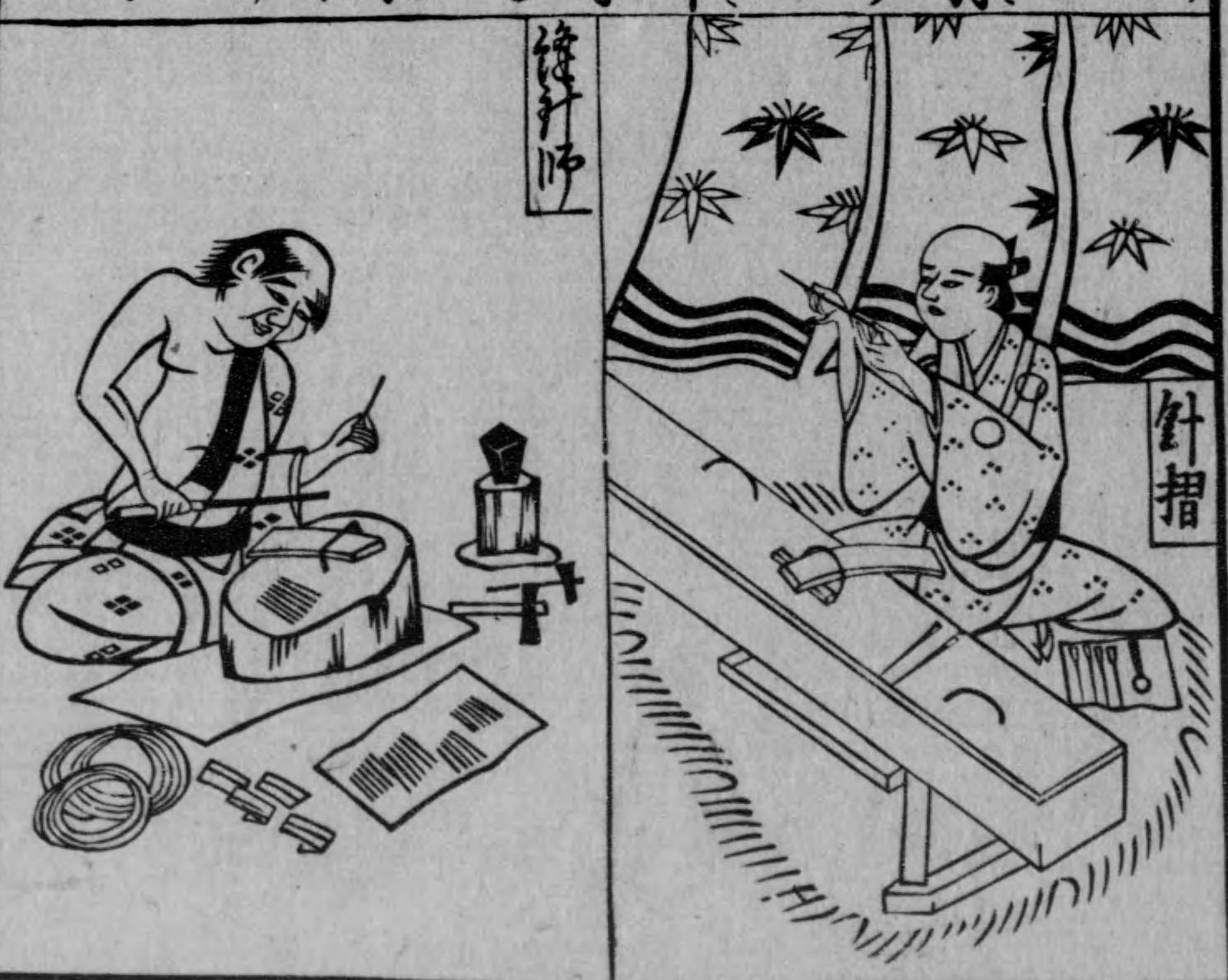


扇所

月長あつてあつたあつたあつた
 上つてこれとあつたあつたあつた
 とあつたあつたあつたあつたあつた
 はあつたあつたあつたあつたあつた
 かりあつたあつたあつたあつたあつた
 ようあつたあつたあつたあつたあつた
 らあつたあつたあつたあつたあつた
 のあつたあつたあつたあつたあつた
 女のあつたあつたあつたあつたあつた
 ようあつたあつたあつたあつたあつた
 青甲あつたあつたあつたあつたあつた



わり末廣中化未いりあつた
 家つたあつたあつたあつたあつた
 女あつたあつたあつたあつたあつた
 師あつたあつたあつたあつたあつた
 をあつたあつたあつたあつたあつた
 時給師 あつたあつたあつたあつた
 田村あつたあつたあつたあつたあつた
 女あつたあつたあつたあつたあつた
 とあつたあつたあつたあつたあつた
 代あつたあつたあつたあつたあつた
 してあつたあつたあつたあつたあつた



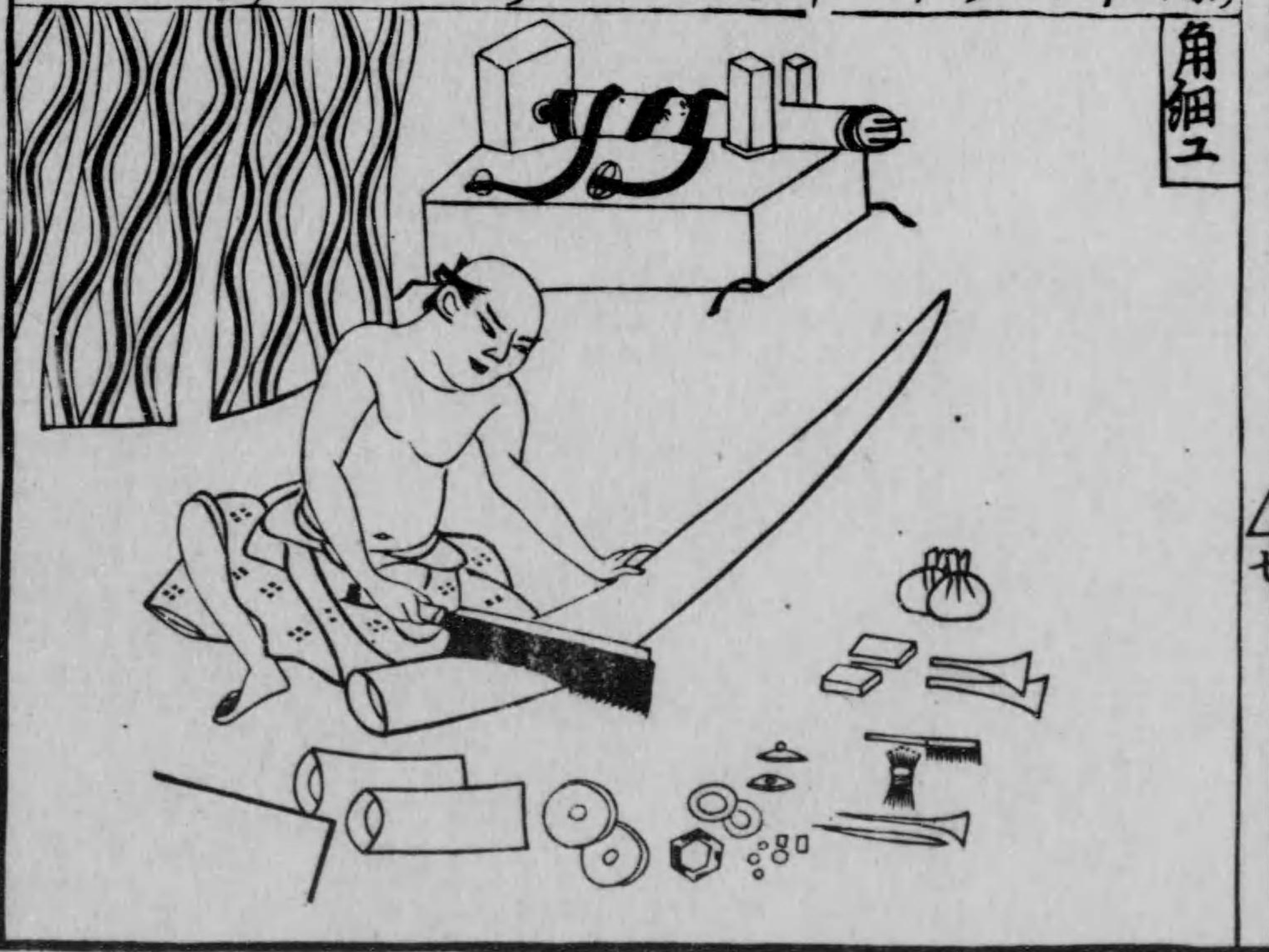
此類のものは、
 ぬすめり下地師がよつて
 是と申す師のめし行とら
 わどく膠あてこれとほろへ
 下地書外より金銀の彩
 や日切金師あかりあり
 時計師 出所のきこ考ど夜
 書本所指附の種をこ京に
 幸町八幡丁上元丁平の武屋
 堀川中三堂上元丁元化を水
 不くはわり 江戸今所記たら
 飛流橋え伝言所記次
 針措 針をこれとりのゆ

新海わいでかきこつて村
 田原下寺所は東下ル丁
 寺長は寺の寺所は東上元
 丁 江戸今所記たら
 五所 縫針師 針
 縫師 針をこれとりのゆ
 家初よりねめて板中師小
 師も縫いで其も縫い
 中 世に縫針師のみの
 わりとも縫いこつてこれ
 みのあつたありのこつて縫
 らもこつて縫針師のみの
 所 三條河原所角福井修と

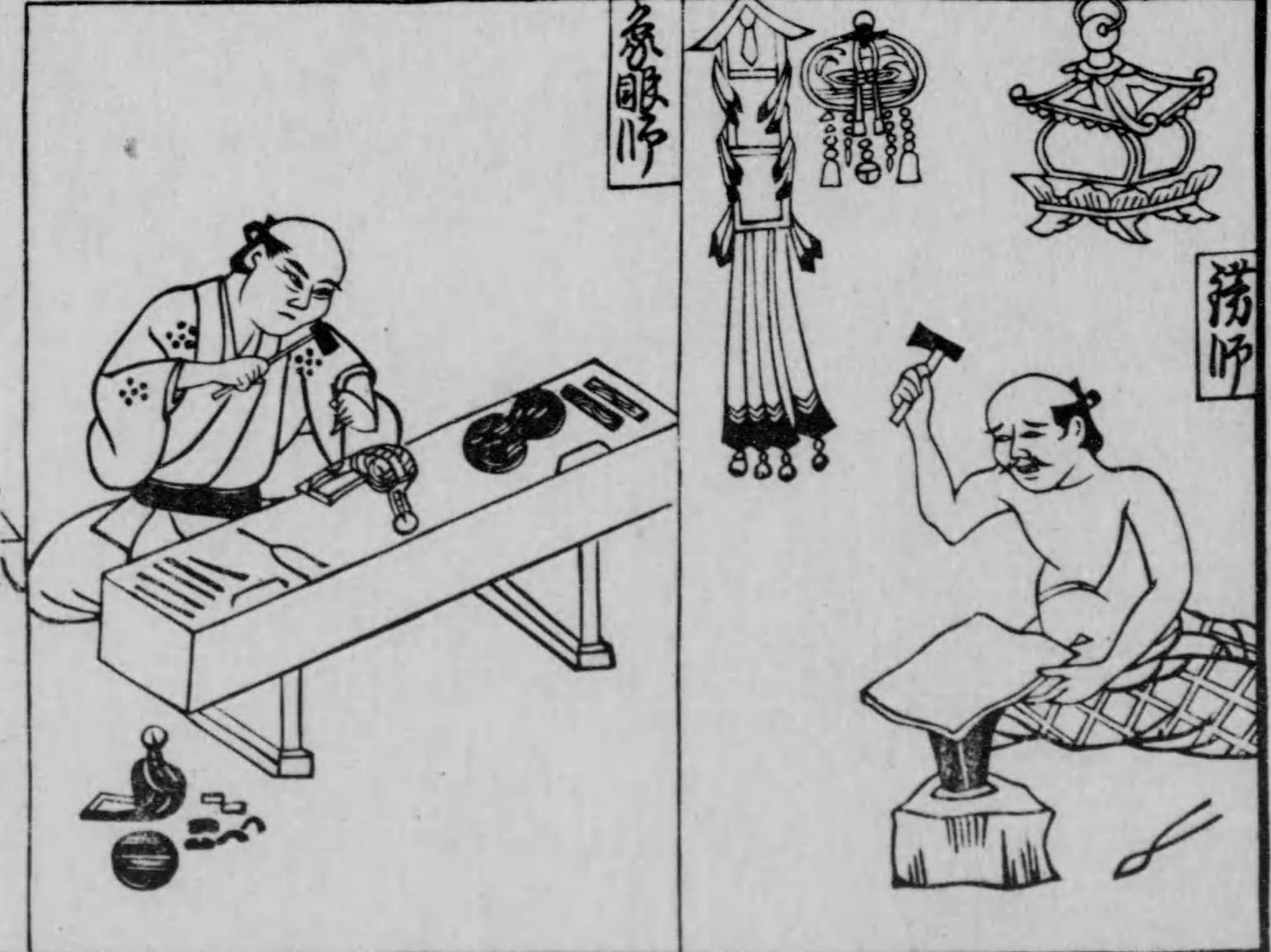
花采 歌彫



最永作舟井口大和ふ東池
 小治も舟大津造分池川
 大坂坊船よあり江戸
 系橋甲子相杉橋小竹川
 丁 顔形 江戸やう
 柳る場あへん丁勤ま
 堀川中三堂下は縁を
 ともか所とあり江戸
 田川所系橋二丁也
 本形師 仏指厨子こみ
 うぬくのうらりに板ま
 面よらまを彫りよま
 をお弾内通名人あり



天正の比尤とありすの名人
 わり
 面形 名人能所とあり
 りとむとたまはるぬく
 秀持まうとまやらまを
 他の面と彫りて母の
 室とほ又夜たのりて
 せし面をよまわり京坊
 川中左堂下ル丁賢
 を江島丸下五堂上ル丁
 法老ら河島丸あへん丁
 細たら江戸を強所二丁
 本目二人曰比若二丁也若



はひりやうしん等の匠師三
 条橋本町跡宗長丸を町
 西町のおよ一丈あり守
 の後三系橋本田をた
 ちかたるといふとつゝか
糸入匠師 糸壺の綱師
 糸壺の糸とりて綱ととく
 雨く木匠と大坂ありと町
 板重 江戸角匠所 南橋
 町中通本江又町目 日本橋
 南三丁目 **中匠師** 杖の
 度草よりとりのらぬ綱
 同くまうとくよは匠



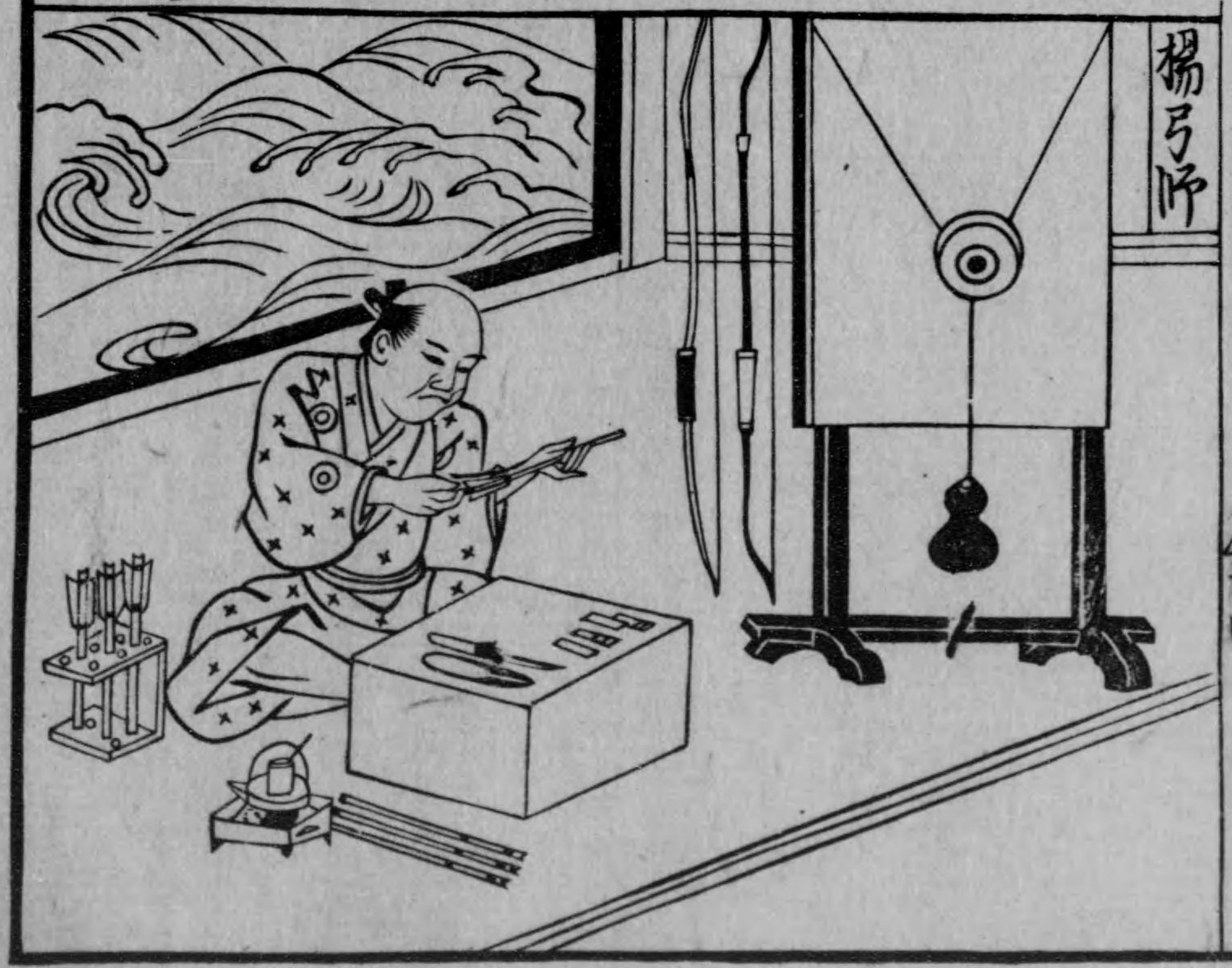
紙入師 杖の柄 毛織草
 あととてへさき紙はら糸糸
 巾着 子恒はありまあり
 所く中匠 **眉化** びう
 仁和寺のまわりの匠に依く
 其の糸ととも **人形師**
 杖の人形とともつら少匠
 杖子入形と小又線人形持
 人形あり 寺町ありと
 りあつとよは匠 留徳和泉
 神五人とと懸や何押小下
 了匠と 張橋人形ありと
 造りか **家内匠師** 杖の織



しきりてあまのり 鏡物
 脚らねとまらもまの
 縮みくれけらあり人
 伝を多ふくまのり 俵
 けんせうの作のひき粉
 田系串 編作あまのり
 うまのり

楊弓師 鏡と紋字
 これよりらも 糸羽浴衣
 糸上元所 月果徳
 楊弓師 楊弓全宗帝の
 沙代みと世とらとて楊

書一巻あり所よけら
 を世産小弓又西のあり
 楊弓矢師ありあり
 中めも下出君のお小念
 物枚板を名づるあり
 江戸神田を神のお
 造花師 鏡のあまのり
 けらあまのり 又の紙のり
 られとつらあまのり
 形彫 一切漆地の小紋
 西とねとけら漆地や緋捲



楊弓師



作花師

彫彫

下下

く高丘

ありまゝのりてむすむす
 任に 任勢をもちてのりむ
 くちりてのりありあり
 推朱彫 唐公あまのり
 張成より教多のりあり
 日本少く彫りありあり
 下京も子門入とてあり
 伊方よやまてありあり
 その子孫仏光寺遊末羽
 流あ人入とてありあり
 二つらとてありありあり
 彫のりむすむすありあり
 ふいゆとてありありあり
 中よりむすむすありあり



第二
 納

大正十年二月廿五日印刷
 大正十年二月廿八日發行
 編輯發行所 東京市牛込區宮久町八十四番地
 印刷所 東京市牛込區御徒町一丁目七番地
 發行所 東京市牛込區宮久町八十四番地
 米山堂

15
396

終